



泉丘SSHだより



第12号 H19.19
編集: SSH推進室
発行: 上田 政憲

石川県立金沢泉丘高等学校



SSH研究発表会が開催されました

12月18日(月)に本校のSSH研究発表会が開催されました。

今年度は、新SSHの取り組みの一つとして掲げられている国際化を課題とし、AIプロジェクトの英語によるポスターセッション発表を行いました。JSTやSSH指定校、県内中学・高校、運営指導委員の先生方、ALT(英語指導助手)や大学院生など、たくさんの方々に参加していただき、英語によるプレゼンや質疑応答などを行いました。

《今年取り組んだAIプロジェクトの研究テーマ》

No.	研究課題名(理科学分野)
1	能登半島における海砂の放射能特性
2	熱気球の研究
3	月の科学
4	納豆菌の研究
5	酸化チタン粉末による工場排水の浄化

No.	研究課題名(数学分野)
1	錯視の研究
2	15パズル
3	いろいろな数を調べる
4	面積と体積

《日程》

13:00~14:30 「AIプロジェクト」発表

県内の高校から14名のALT(外国語指導助手)に参加してもらい、英語によるポスターセッション発表を行いました。



14:40~16:00 研究協議会

本校のSSH取り組みについての説明を行いました。また、出席された先生方から質問や貴重な意見をいただきました。

- (1) 挨拶
- (2) SSH成果報告
- (3) 質疑応答
- (4) 講評



AIプロジェクトの発表を終えて・・・

- 自分で理解するのも難しかったが、人に分かりやすく伝えるのもすごく難しかった。英語を話す機会がたくさんあったので、ためになったと思うし外国の人とコミュニケーションがとれてとても楽しかった。
- 時間がかかって大変だったけれど、終わったときの達成感はとても大きかった。終わってみると結構充実していた気がする。
- 自分で実験を考えたり、問題・疑問を発見して解決する力がついたと思う。
- 発表する機会があり、回を重ねるごとにスムーズに分かりやすく説明できるようになった。またどのような質問にも答えられる方法も身につけることができた。
- 自ら進んで研究することの難しさがわかった。また、探求していくというとても貴重な体験ができてよかった。
- 実験や発表準備を進める上で、先生や班の仲間から様々なことを学びとれて、一つのものを作り上げることができた。
- テーマについての知識をはじめ、レポート作成やプレゼンなど、勉強になることがたくさんあり、とてもいい経験になったと思う。

3校合同課題研究発表会

県内の理数科設置校の課題研究合同発表会が12月19日(火)に金沢市文化ホールにおいて開催されました。本校からは『15パズル』と『納豆菌の研究』が発表を行いました。

県内で理数科を設置している3校ともSSH指定を受けた今年度の合同発表会は、生徒たちの課題研究発表だけでなく、七尾高校の先生がSSH取り組み事例を発表しました。また、県内の高校からも理数担当教員の方々に参加していただきました。



1月からのSSH行事予定

コスモサイエンスⅠ

月日・曜日	内 容	講 師
1月12日(金)	[実験]環境放射線の観察	戸田 一郎 氏(北陸電力エネルギー科学館)
1月19日(金)	[講義]金沢周辺の火山と地震	石渡 明 氏(金沢大学理学部 教授)
1月26日(金)	[講義]がんの医療と研究	源 利成 氏(金沢大学医学部教授)
	[講義]五感の科学	三輪 高喜 氏(金沢大学医学部助教授)
2月 2日(金)	[講義]薬学への招待	吉藤 茂行 氏(北陸大学薬学部 教授)
	[実験]サッカリンの合成実験	
2月16日(金)	[講義]太陽系そして宇宙へ	渡部 潤一 氏(国立天文台 助教授)

コスモサイエンスⅡ

月日・曜日	内 容	講 師
1月24日(水)	[実習]	村井 昭夫 氏(石川県教育センター指導主事)
	ランドサットの画像解析実習	
		石野 周 氏(石川県教育センター指導主事)

SSH石川県運営指導委員会

3月下旬に行う予定です。詳細が決まりましたらご連絡いたします。

《あとかき》 今年も残り3ヶ月となり、毎年恒例の報告書作成が始まりました。新SSHの課題は多く報告書のまとめ作業も容易には進まないかもしれませんが、年度末の納期までにはなんとか仕上げたいと思っています。今年1年間のSSH活動についてご意見などありましたら、SSH推進室までご連絡ください。よろしくお願いいたします。